

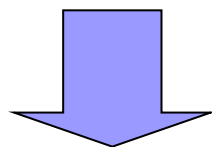


WINTER CHALLENGE 「光の線」

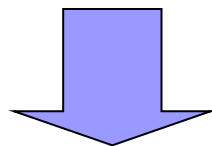
機械システム工学科
有田雄一郎

製作にあたって

光（あかり）は何かを照らす役割を持つ。



光そのものの存在感を表現したい。



照明ではなく、作品自体が光を表現する装置となるようなものの製作



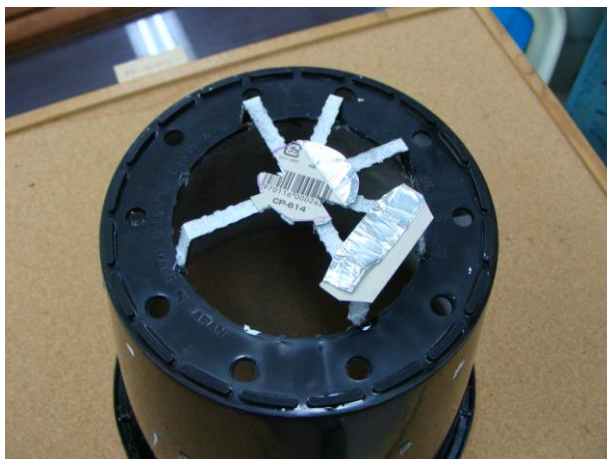
作品概要

- ・アクリルケース内に満たされたコロイド溶液にレーザー光線を照射し、その軌跡を観察する。
- ・ケース内はゼラチン層、白色の溶液層、油層の3層から成っており、それぞれで光線の見え方に変化が生じる。

アクリルケース内部構造



台座内部構造



光線点滅の機構



光源

工夫点

- ・層分けによって実現した複数の光の表現

ゼラチン層・・・光の線の表現

白色層・・・光の色の表現

- ・アルミ箔による光の反射・安全性の向上

- ・ビー玉を用いての演出

終わりに

この装置を見ることで、“光”が動く“線”として確かにそこに存在している事を確認してもらい、光そのものの魅力を再認識してもらおうきっかけとなれば幸いである。